

10

大学ニュース



清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <https://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>

Mail: kiyomigata@cy.tnc.ne.jp



九月十九日（火）ホテルクエストで行われた清水ロータリークラブ例会において、山崎会長から牧田塾長に第三十九回度の後援会費が手渡されました。



清水ロータリークラブ（山崎亮会長）が、清見潟大学塾の後援会企業に加入してくださいました。



☆ロータリーとは
一九〇五年、弁護士ポール・ハリスとその仲間によって、アメリカのカゴで創設されました。職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することを使命として、百年以上活動が続いています。

清水ロータリークラブは、一九五二年（昭和二十七年）九月二日、会員二十二名で創立されました。現在は五十二名の会員が在籍しています。新規会員を募集していますので、興味のある方は、清水ロータリークラブホームページをご覧ください。



清見潟大学塾では、五十八人の講師が、九十九の講座を開講しています。あなたも、得意なことやこれまで学んだことを、みんなに広めていきませんか。興味のある方は十月十三日（金）までに、清見潟大学塾事務局へお電話ください。

新規講師募集！
清見潟大学塾の講師になりませんか



オカリナというと、スタジオジブリのアニメ「となりのトトロ」でトトロの吹いていた笛の音を思い出す方や、子どものころの「学習」と「科学」の付録を思い出す方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私は小学生の時、売れ残っていた赤いプラスチックの笛を文具店で見つけました。それがオカリナとの出会いでした。縦笛よりも優しい音を簡単に吹出せることに驚き、いつかは習ってみたいと思うようになりました。

今回はそんなオカリナを教えてください。さる教室におじゃましました。

Q 変わった形をしていますね。



一般的なオカリナ

A 日本では涙滴型が一般的ですが、丸や四角い形のものもあります。トトロが吹いていたのは丸い形のオカリナですね。

オカリナ (ocarina) はもともとイタリアの楽器で、ガチョウを表す「オカ (oca)」と小さいという意味の「イナ (-ina)」が合わさってできた名前前で、イタリアでは「オカリナー」と呼ばれています。

原型になった楽器はメソポタミア文明の時代からあったようです。

Q 簡単に音が出ますね。

A 息を吹き込めば音は出ます。でも音域が一オクターブ半しかありません。また高音側ではオカリナの支え方にコツがあるので、音をしっかりと出



ロングブレスから



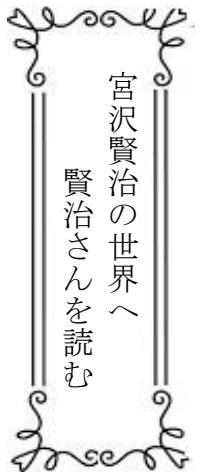
して安定した音楽にするには、それなりに練習する必要があります。あなたも早く皆と練習して、楽しく演奏しましょう。いつでもどうぞ。



・オカリナを楽しく
・岡生涯学習交流館
・第一・三(水)十時
・講師 大石京子



笑顔の矢田部先生



Q なぜ講座で宮沢賢治を取り上げたのですか

宮沢賢治というと、農家の生活や仏教の考え方を取り入れた作品や、理想郷を「イーハトーブ」と名付けたことでも有名です。小学校の国語の教科書にも「銀河鉄道の夜」や「注文の多い料理店」が扱われていました。



丹田に空気を入れて吐く

A 私は十三年前、湖西市の中央公民館で「はなしずく」という朗読の会を三人で始めました。その時最初に取り上げたのが、宮沢賢治の「度十公園林」などの三作品でした。お話の会をやっていくうちに、自分は本当に宮沢賢治が好きなんだと気づかされました。



肩の力を抜きましょう



みんなで一緒に



目で追うだけでなく声に出す

清見潟大学塾では第三十三回度から宮沢賢治の作品を朗読する、つまり目で追うだけではなく声に出して読む講座を開設しています。



先生の朗読は歯切れがいい！

作品の豊富さや、作品の書かれた背景などを掘り下げていくことによる面白さは、講座にぴったりでした。私は二〇一六年に「宮沢賢治学会」に入会しましたよ。

本当に宮沢賢治がお好きだということが伝わってきました。それと、歳を重ねると活舌が悪くなると言いますが、この講座の人達にその心配はないと実感しました。

- ・ 賢治さんを読む
- ・ 辻生涯学習交流館
- ・ 第二（火）九時半〜
- ・ 講師 矢田部駿一

出演します

- ・二胡を奏でる
おきつ文化祭

(興津生涯学習交流館祭り)

十月二十九日(日) 十時～

講師 池ヶ谷愛美

- ・日本舞踊初心者

入江生涯学習交流館

(入江生涯学習交流館祭り)

十一月十二日(日) 十時～

講師 花柳美乃玉

- ・オカリナを吹こうⅡ

高部生涯学習交流館

(高部ふれあい音楽会)

十一月二十六日(日) 九時半～

講師 川崎昌子

募金ありがとうございます

- ・筆のたのしみ

- ・書道「蓬会」

- ・入門「実用書道」

講師 太田静苑

- ・誰でも知ってる歌・唄・うた

講師 鈴木芳子

- ・わくわくドキドキ英会話
・とってもA会話

講師 近藤一美

清見潟川柳

- ・チンチロリン

出番が来たよと 鳴きだした

(ペンネーム きいちちゃん)

- ・おしゃべりの

花が咲きます 講座あと

(ペンネーム ゆーさん)

- ・夏休み

やっと終わって ホツとする

(ペンネーム 子守さん)

- ・ハズレくじ

夢を買ったと 負け惜しみ

(ペンネーム 夢追い人)

- ・そこまで言う

それならあなた やりなさい

(ペンネーム スーさん)

川柳コーナーへの投稿ありがとうございます
ございました。

生涯学習交流館の皆様、どうぞ応募
してください。

メールお電話、お待ちしております。

子は親の言葉を聞いて育つ

「人を殺して何が悪い」とうそぶく少年犯罪者がいた。教育が悪い、親の躾が悪い。と嘆く前に、我々大人の生活パターンの中に、それを容認する素因が隠されているような気がする。

たとえばテレビ番組の中で「今夜九時、『京都北嵯峨連続殺人事件』どうぞお楽しみに」というコマースャルを見て「あら、面白そうね。見ようかしら」と知らないうちに大人達が殺人事件を楽しんでいないだろうか。もつとも思わすべき殺人事件が娯楽番組になつて現実と、「人を殺して何が悪い」とうそぶく少年との間に、どれだけの違いがあるのだろうか。

テレビ番組を見てみると、殺人事件のない日はない。殺人を娯楽として肯定している社会が少年の心を蝕んでいるとしか思えない。誤った文化が社会を毒す。

アメリカ映画でビルが吹っ飛ぶ光景と、百五十階の貿易センタービルに飛行機が激突する場面が重なり、虚構と現実が混濁した瞬間、人びとは何を考えたのであろうか。毎日のように放映されるアメリカ映画は、

殺戮と破壊の連続の中でヒロインだけは不思議と生き残る。『水戸黄門漫遊記』と同じパターンだ。

この世には悪い奴がごまんといる。懲らしめても懲らしめても一向に減らない。減らないどころか行く先々で次から次へと増えていく。世の中は悪人と、迷惑している人と、懲らしめる人と、全く無関係な人と四種類に分けることができる。最近の子供達の口癖は「別に」と「関係ない」の二つに集約される。共に憂慮すべき言葉だ。が、これも大人が非難すべきことではない。

「貴方、今夜食べたいものある」「別にないよ」。子供達の会話には「ないよ」が抜けているだけのことだ。

子供達の非行を非難する前に、大人達が不用意に発する言葉がいかに子供達の思考を狂わせているか反省すべきである。

『不良老人のすすめ』より抜粋

著者 故大石正路(第二代塾長)



